

603HW

お願いとご注意

<div><div><div><div><div></div></div><div><div></div></div></div><div><div><div></div></div><div><div></div></div></div><div><div><div></div></div><div><div></div></div></div></div></div>
<div>このたびは、「603HW」をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。</div> <div>●603HWをご利用の前に、「クイックスタート（準備編）」、「クイックスタート（接続編）」、「お願いとご注意（本書）」および「ユーザーガイド」をご覧ください。</div> <div>●ユーザーガイドは、ワイモバイルのホームページ（http://www.mobile.jp/lineup/603hw/support/）からご確認ください。</div> <div>603HWは、4G／LTE／3G方式に対応しております。ただし3G方式は、海外でのご利用時のみ接続が可能です。4Gは、第3.5世代移動通信システム以上の技術に対しても4Gの呼称を認めるという国際電気通信連合（ITU）の声明に基づきサービス名称として使用しています。</div> <div>ご注意</div> <div><ul style="list-style-type: none">本書の内容の一部でも無断転載することは禁止されております。本書の内容は将来、予告無しに変更することがございます。本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や記載漏れなどお気づきの点がございましたら、お問い合わせ先までご連絡ください。</div>

マナーとルールを守り安全に使用しましょう

安全のために

こんな使いかたはやめましょう。

- 分解・改造・ハンダ付けなどお客様による修理をしないでください。火災・けが・感電などの事故または故障の原因となります。
- 落としたり、投げたりして、強い衝撃を与えないでください。故障などの原因となります。
- 本機を加熱調理機器（電子レンジなど）・高圧容器（圧力釜など）の中に入れたり、電磁調理器（IH調理器）の上に置いたりしないでください。故障などの原因となります。
- 高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用・放置しないでください。機器の変形・故障の原因となります。また、ケースの一部が熱くなり、やけどなどの原因となることがあります。
- 本機を長時間ご使用になる場合や充電中など、特に高温環境では熱くなることがありますので、ご注意ください。長時間肌に触れたまま使用していると、低温やけどになる恐れがあります。

マナーを守ろう!

安全のために使用が禁止されています。

- 航空機内では航空会社の指示に従い適切にご使用ください。本機の電波により運航の安全に支障をきたす恐れがあります。
- 病院、研究所など本機の使用が禁止されている場所では、使用しないでください。医療機器などに影響をおよぼす場合があります。
- 電車やバスなどの優先席近くでは使用しないでください。ペースメーカーなど生命にかかわる機器に影響をおよぼすことがあります。
- ゴルフ場など野外で雷鳴が聞こえたときは、落雷の恐れがありますので、使用しないでください。

安全上のご注意

- ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

表示の説明

次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷 ^{※1} 」を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷 ^{※1} 」を負う可能性が想定される」内容です。
	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷 ^{※2} 」を負う可能性が想定される場合および物的損害 ^{※3} の発生が想定される」内容です。

※1 重傷：失明・けが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものを指します。

※2 軽傷：治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど（高温・低温）・感電などを指します。

※3 物的損害：家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害を指します。

絵表示の説明

次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

	禁止（してはいけないこと）を示す記号です。		濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
	分解してはいけないことを示す記号です。		指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示す記号です。
	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。		電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

603HW、USIM カード、電池パック（HWBCM1）、USB ケーブル TypeA/C（HWDCM1）、充電用機器の取り扱いについて（共通）

⚠危険

- 高温になる場所や熱のこもりやすい場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつや布団の中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

- 電子レンジ、IH調理器などの加熱調理器、圧力釜などの高圧容器に入れたり、近くに置いたりしないでください。火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

- 砂や土、泥を掛けたり、直に置いたりしないでください。また、砂などが付着した手で触れないでください。火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

- 分解、改造をしないでください。火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

⚠警告

- 落下させる、踏みつける、投げつけるなど強い力や衝撃、振動を与えないでください。火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

- 端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させたり、ほこりが内部に入ったりしないようにしてください。火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

- 使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。火災、やけどなどの原因となります。

- 所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。過充電などにより、火災、やけど、けがなどの原因となります。

⚠注意

- 破損したまま使用しないでください。火災、やけど、けがなどの原因となります。

- くらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。落下して、けがなどの原因となります。

- 湿気やほこりの多い場所や高温になる場所での使用、保管はしないでください。火災、やけど、感電などの原因となります。

- 子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教え、誤った使いかたをさせないでください。けがなどの原因となります。

603HW の取り扱いについて

⚠危険

- 火の中に投入したり、熱を加えたりしないでください。電池パックの発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

- 釘（鋭利なもの）を刺したり、ハンマー（硬いもの）で叩いたり、踏みつけたりするなど過度な力を加えないでください。電池パックの発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

⚠警告

- 本機内の USIM カード挿入口に水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。また、USIM カードの挿入場所や向きを間違えないでください。火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

- 航空機へのご搭乗にあたり、本機の電源を切ってください。航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。航空機の電子機器に悪影響を及ぼす原因となります。なお、航空機内での使用において禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。

- 病院での使用については、各医療機関の指示に従ってください。使用を禁止されている場所では、本機の電源を切ってください。電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。

- 医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。

- 高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本機の電源を切ってください。電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。

- ※ご注意いただきたい電子機器の例補聴器、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、各医用電気機器メーカーもしくは販売業者の方には、各医用電気機器についてご確認ください。

- ディスプレイ部を破損した際には、露出した本機の内部にご注意ください。破損部や露出部に触れると、やけど、けが、感電などの原因となります。

お問い合わせ先一覧

お困りのときや、ご不明な点などございましたら、お気軽に下記お問い合わせ窓口までご連絡ください。電話番号はお間違いのないようおかけください。

■ワイモバイル カスタマーセンター

- 総合窓口（通話料有料）ワイモバイルのスマートフォン・ケータイから151 一般電話、他社スマートフォン・ケータイから0570-039-151 受付時間：9:00 ～ 20:00（年中無休）
- 各種お手続き（通話料無料）ワイモバイルのスマートフォン・ケータイから116 一般電話、他社スマートフォン・ケータイから0120-921-156 受付時間：自動音声応答にて24時間受付(年中無休)
- 海外から（通話料有料）+81-4-4382-0800 受付時間：9:00 ～ 20:00(日本時間/年中無休)

⚠注意

- ディスプレイを破損し、内部の物質などが漏れた場合には、顔や手の皮膚や衣類などにつけないでください。失明や皮膚への傷害などを起こす原因となります。内部の物質などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。

- 電池カバーを取り外す際は、必要以上に力を入れないでください。電池カバーが破損し、けがなどの原因となります。

- 電池カバーを取り付けるときは、指を挟まないでください。けがなどの原因となります。

- 電池カバーを外したまま使用しないでください。やけど、けが、感電などの原因となります。

- 火の中に投入したり、熱を加えたりしないでください。電池パックの発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

電池パック（HWBCM1）の取り扱いについて

電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類を確認した上で、ご利用・処分をしてください。

表示	電池の種類
Li-Ion 00	リチウムイオンポリマー電池

⚠危険

- 金属片（ネックレスやヘアピンなど）や導電性異物などと接続端子が触れないようにしてください。また、それらのものと一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。電池パックの発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

- 電池パックを本機に取り付けるときは、電池パックの向きを確かめてください。誤った向きで取り付けると、電池パックの発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

- 電池パックを本機にうまく取り付けできない場合は、無理に取り付けないでください。電池パックの発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

⚠警告

- 異臭、発熱、変色、変形などの異常がみられた場合は、使用しないでください。電池パックの発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

- 電池パックが漏液したり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。漏液した液体に引火し、発火、破裂などの原因となります。

⚠注意

- 一般のゴミと一緒に捨てないでください。発火による火災、やけど、けがなどの原因となります。また、環境破壊の原因となります。不要となった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶緣してからワイモバイルの各店舗にお持ちいただくか、回収を行っている市区町村の指示に従ってください。

- 濡れた電池パックを使用したり充電したりしないでください。電池パックの発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

充電用機器、USB ケーブル TypeA/C（HWDCM1）の取り扱いについて

⚠警告

- ACアダプタ（別売）やUSBケーブルのコードが傷んだら使用しないでください。火災、やけど、感電などの原因となります。

- ACアダプタ（別売）やUSBケーブルは、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。火災、やけど、感電などの原因となります。

- 雷が鳴り出したら、ACアダプタ（別売）やUSBケーブルには触れないでください。感電などの原因となります。

- コンセントにつないで状態で端子をショートさせないでください。また、端子に手や指など、身体の一部に触れさせないでください。火災、やけど、感電などの原因となります。

- ACアダプタ（別売）やUSBケーブルのコードの上に重いものをのせたり、引っ張るなど無理な力を加えたりしないでください。火災、やけど、感電などの原因となります。

- 端末にUSBケーブルを抜き差しするときは、金属製ストップなどの金属類を接触させないでください。火災、やけど、感電などの原因となります。

- ACアダプタ（別売）に海外旅行用の変圧器（トランスコンバーター）を使用しないでください。発火、発熱、感電などの原因となります。

- 本機にUSBケーブルを接続した状態で、接続部に無理な力を加えないでください。火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

- 濡れた手でACアダプタ（別売）のコードやUSBケーブル、端子、電源プラグに触れないでください。火災、やけど、感電などの原因となります。

- 指定の電源、電圧で使用してください。また、海外で充電する場合は、海外で使用可能なACアダプタ（別売）で充電してください。誤った電源、電圧で使用するると火災、やけど、感電などの原因となります。

- ACアダプタ（別売）：AC100V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）海外で使用可能なACアダプタ（別売）：AC100V～240V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）

⚠注意

- 本機につないで状態でUSBケーブルを長時間触れないでください。やけどなどの原因となります。

USIM カードの取り扱いについて

⚠注意

- USIM カードを取り扱う際は指などの体の一部を傷つけないよう、切断面にご注意ください。けがなどの原因となります。

医用電気機器近くでの取り扱いについて

⚠警告

- 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着している場合は、装着部から本機を15cm以上離して携帯および使用してください。電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

- 自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

※お問い合わせの際に、ワイモバイルのスマートフォン・ケータイの電話番号と暗証番号（新規ご契約時にお客様にてお決めいただいた4桁の番号）が必要となります。

※一部の光電話、IP電話等からはご利用いただけない場合があります。ご利用いただける場合は、「044-382-0810（通話料有料）」をご利用ください。

ホームページ <http://ymobile.jp/>

- 発売元（保証責任、保証履行）ソフトバンク株式会社

製造元：HUAWEI TECHNOLOGIES CO., LTD.

! 注意

- 自動車内で使用する場合、自動車メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。車種によっては、まれに車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。

- ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、ある程度の距離をとってください。暗い場所や近くで見ると視力低下などの原因となります。

- 本機の使用により、皮膚に異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。お客様の体質や体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などが生じることがあります。

- 各箇所の材質について → 本書裏面「材質一覧」

⚠危険

- 火の中に投入したり、熱を加えたりしないでください。電池パックの発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

- 釘（鋭利なもの）を刺したり、ハンマー（硬いもの）で叩いたり、踏みつけたりするなど過度な力を加えないでください。電池パックの発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

- 電池パック内部の物質などが目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。電池パック内部の物質などの影響により、失明や体調不良などの原因となります。

! 注意

- ベットなどが電池パックに噛みつかないようにご注意ください。電池パックの発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

! 警告

- ペットなどが電池パックに噛みつかないようにご注意ください。電池パックの発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

! 注意

- 電池パック内部の物質などが漏れた場合は、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。失明や皮膚への傷害などを起こす原因となります。内部の物質などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。また、目や口に入った場合は、洗浄後ただちに医師の診療を受けてください。

! 警告

- 電源プラグ・USBプラグについたほこりは、拭き取ってください。ほこりが付着した状態で使用すると、火災、やけど、感電などの原因となります。

- USBケーブルを本機に差し込むときは、確実に差し込んでください。確実に差し込まないと、火災、やけど、感電などの原因となります。

- USBケーブルを本機から抜く場合は、USBケーブルのコードを引っ張るなど無理な力を加えず、コネクタを持って抜いてください。USBケーブルのコードを引っ張るとコードが傷つき、火災、やけど、感電などの原因となります。

- 本機にUSBケーブルを抜き差しする場合は、コードを引っ張るなど無理な力を加えず、接続する端子に対してまっすぐ抜き差ししてください。

- 正しく抜き差ししないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

- 充電端子が曲がるなど変形した場合は、直ちに使用をやめてください。また、変形を元に戻しての使用もやめてください。

- 充電端子のショートにより、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

- 使用しない場合は、USBケーブルを本機から抜いてください。

- USBケーブルを接続したまま放置すると、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

- 水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）が入った場合は、直ちに本機からUSBケーブルを抜いてください。火災、やけど、感電などの原因となります。

- お手入れの際は、USBケーブルを本機から抜いて行ってください。

- 抜かずに行くと、火災、やけど、感電などの原因となります。

材質一覧

	使用箇所	使用材料・表面処理
本体	外装ケース（表面）	PC・塗装
	外装ケース（側面）	PC・塗装
	タッチパネル	ガラス
	電源ボタン	PC・塗装
	リセットボタン	PC+ABS
	電池カバー	PC・塗装
	シート	PET
	銘板	PET
	水濡れシート	PP+水溶紙
	外装ケース（電池面）（樹脂部）	PA
	外装ケース（電池面）（金属部）	アルミニウム合金
	USIMカードスロット*	ニッケル銅合金・金メッキ
	USIMカードスロット（樹脂部）	LCP
	USIMカードスロット（金属部）	リン青銅・金メッキ/ニッケルメッキ
電池接続端子（樹脂部）	LCP	
電池接続端子（金属部）	チタン銅合金・金メッキ	
USBケーブル	外装ケース	TPE
	USBプラグ	黄銅・ニッケルメッキ
	Type-Cプラグ	SPCC-SD、ニッケルメッキ
	本体	PC+ABS
電池パック	端子	銅・金メッキ/ニッケルメッキ
	水濡れシート	水溶紙・OPPフィルム
	印字ラベル	PET

お願いとご注意

ご利用にあたって

- 4G サービスは、専用機種以外は利用できません。
- 本機はソフトウェアアップデートに対応しております。ソフトウェアは最新の状態でご利用ください。
- 本機は電波を利用しているので、サービスエリア内であっても屋内、地下、トンネル内、自動車内などでは電波が届きにくくなり、通信が困難になることがあります。また、通信中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通信が急に途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本機を公共の場所でご使用になるときは、周りの方の迷惑にならないようにご注意ください。また劇場や乗り物などによっては、ご使用できない場所がありますのでご注意ください。
- 本機は電波法に定められた無線局です。したがって、電波法に基づく検査を受けていただく場合があります。あらかじめご了承ください。
- 以下の場合、登録された情報内容が変化・消失することがあります。情報内容の変化・消失については、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。情報内容の変化・消失に伴う損害を最小限にするために、重要な内容は別にメモを取るなどして保管してください。
 - 誤った使いかたをしたとき
 - 静電気や電氣的ノイズの影響を受けたとき
 - 動作中に電源を切ったとき
 - 故障したり、修理に出したとき
- 海外で無線 LAN をご利用される場合はその国の法律に基づいた設定変更が必要となります。設定については、ユーザーガイドをご確認ください。
- 回線の混雑状況や通信環境などにより、通信速度が低下、または通信できなくなる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 爆発物を取り扱う場所、その近辺では本機を使用しないでください。爆発を誘発する恐れがあります。また、爆破装置などに影響を与える場合があります。
- 本機で利用する USIM カードは、一部機種（これまで当社より発売された機種を含む）ではご利用になれません。
- 充電中や長時間連続でご使用された場合、本機が熱くなる場合があります。
- 長時間肌に触れたまま使用していると、低温やけどになる恐れがあります。取り扱いにはご注意ください。
- 充電中 AC アダプタ（別売）が熱くなる場合があります。

お取り扱いについて

- 雨や雪の日、および湿気の多い場所でご使用になる場合、水に濡らさないよう十分ご注意ください。
- 本機は防水仕様ではありません。
- 本機を極端な高温または低温、多湿の環境、直射日光のあたる場所、ほこりの多い場所でご使用にならないでください。
- 本機を落としたり衝撃を与えないでください。
- 本機をお手入れの際は、乾いた柔らかい布で拭いてください。また、アルコール、シンナー、ベンジンなどを用いると色があせたり、文字が薄くなったたりすることがありますので、ご使用にならないでください。

タッチパネルについて

- ディスプレイの表面に爪や鋭利な物、硬い物などを強く押し付けしないでください。傷の発生や破損の原因となります。タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先のとがったもの（爪・ボールペン・ピンなど）を押し付けたりしないでください。以下の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
 - 手袋をしたままでの操作
 - 爪の先での操作
 - 異物を操作面に乗せたままでの操作
 - 保護シートやシールなどを貼ったでの操作
 - ディスプレイに水滴が付着または結露している状態での操作
 - 濡れた指または汗で湿った指での操作
- ポケットやカバンなどに入れて持ち運び際は、タッチパネルに金属などの伝導性物質が近づいた場合、タッチパネルが誤動作する場合がありますのでご注意ください。
- タッチ操作は指で行ってください。ボールペンや鉛筆など先が鋭いもので操作しないでください。正しく動作しないだけでなく、ディスプレイの傷の発生や、破損の原因になる場合があります。
- タッチパネルにシールやシート類（市販の保護フィルムや覗き見防止シートなど）を貼らないでください。タッチパネルが正しく動作しない原因となる場合があります。
- 爪先でタッチ操作をしないでください。爪が割れたり、けがの原因となる場合があります。

無線 LAN について

周波数帯域について

周波数帯(2.4GHz帯)について

本機の無線 LAN は、2.4GHz 帯の 2400MHz から 2483.5MHz までの周波数を使用します。無線 LAN 搭載機器が使用している周波数帯は、本機の個装箱に記載されています。

2.4	: 周波数 2400MHz 帯を使用する無線装置であることを示します。
DS/OF	: 変調方式が DSSS、OFDM であることを示します。
4	: 想定される与干渉距離が40m 以下であることを示します。
— — —	: 2400MHz ～ 2483.5MHz の全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避できることを示しています。

- 利用可能なチャンネルは国により異なります。
- 航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。
- 無線 LAN を海外で利用する場合、ご利用の国によっては使用場所などが制限される場合があります。その場合は、その国の使用可能周波数、法規制などの条件をご確認のうえ、ご利用ください。

周波数帯(5GHz帯)について

本機の無線 LAN は、5GHzの周波数帯を使用します。電波法により 5.2GHz 帯および 5.3GHz 帯の屋外利用は禁止されております。

本機が使用するチャンネルは以下の通りです。

- W52 (5.2GHz 帯 / 36、40、44、48ch)
- W53 (5.3GHz 帯 / 52、56、60、64ch)
- W56 (5.6GHz 帯 / 100、104、108、112、116、120、124、128、132、136、140ch)

無線 LAN についてのお願い

- 電気製品・AV・OA 機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。
 - 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります。特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります。
 - テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
 - 近くに複数の無線 LAN アクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。
- 本機の無線 LAN が使用する 2.4GHz 帯では、電子レンジなどの家庭用電化製品や産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。
 - この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
 - 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかご利用を中断していただいたうえで、混信回避のための処置（例えば、パーティションの設置など）を行うか、使用場所を変更してください。
- 無線 LAN は、LAN ケーブルの代わりに、電波を利用してパソコンなどの無線 LAN 端末と無線 LAN アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能になるという利点があります。その反面、電波が届く範囲内であれば、障害物（壁など）を超えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合は、通信内容を盗み見られたり不正に侵入されたりするなどのセキュリティ上の問題が発生する可能性があります。本機は、お買い上げ時の状態でセキュリティ機能が働くように設定されています。ただし、安全性を考慮して、お買い上げ時のセキュリティ設定を変更してお使いになることをおすすめします。セキュリティ機能の設定方法については、ユーザーガイドおよびお使いの無線 LAN 端末の取扱説明書を参照してください。
 - 無線 LAN の仕様上、特殊な方法によってセキュリティ設定が破られることもあり得ますので、ご理解いただいたうえでお使いください。
 - セキュリティ設定などについて、お客様で対処できない場合には、お問い合わせ先までご相談ください。
 - 無線 LAN 機能をご利用の際に、上記のようなセキュリティに関して発生するいかなる問題についても、当社は保証いたしかねますのでご了承ください。

知的財産権について

- SOFTBANK およびソフトバンクの名称、ロゴは日本国およびその他の国におけるソフトバンクグループ株式会社の登録商標または商標です。
- Pocket WiFi は、ソフトバンク株式会社の登録商標です。
- HUAWEI は、中国 HUAWEI TECHNOLOGIES CO., LTD. の商標または登録商標です。
- Microsoft[®]、Windows[®]、Internet Explorer、Windows Vista[®] は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における商標または登録商標です。
- Windows は Microsoft Windows operating system の略称として表記されています。
- TM and © 2017 Apple Inc. All rights reserved.
- Apple、Appleのロゴ、iPad、iPhone、iPod、iPod touch、Mac、Macintosh、Safariは、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- iPhone の商標は、アイホン株式会社のライセンスにもとづき使用されています。
- App Storeは、Apple Inc. のサービスマークです。
- 「PlayStation」、[PS4] および [PS3] は株式会社ソニー・インタラクティブエンタテインメントの登録商標または商標です。
- Wii、Wii U、ニンテンドー 3DS LL およびニンテンドー 3DS は、任天堂の商標または登録商標です。
- Wi-Fi[®]、WPA™、WPA2™、Wi-Fi Protected Setup™ とそのロゴは、Wi-Fi Alliance の商標または登録商標です。
- Google、Android、Google Chrome は、Google Inc. の商標または登録商標です。
- Firefox は、米国 Mozilla Foundation の米国及びその他の国における商標または登録商標です。
- Opera は Opera Software ASA の商標または登録商標です。Opera に関する詳細については、http://www.opera.com/ja/ をご覧ください。
- その他、本書に記載されている会社名および商品・サービス名は、各社の商標または登録商標です。

PIN コード設定

PIN(Personal Identification Number) は、不正ユーザーが USIM カードを利用することを防ぐために使われるコードです。お買い上げ時の USIM カードは、PIN コード認証なし、PIN コードは「9999」に設定されています。PIN コードの設定 / 変更方法については、ユーザーガイドを参照してください。

603HW の比吸収率（SAR）について

この製品【603HW】は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および国際ガイドラインに適合しています。この製品は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準^{*1}ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。

国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）で定めており、この通信端末に対する SAR の許容値は 2.0 W/kg です。この製品を次に記述する所定の使用法^{*3}で使用した場合の SAR の最大値は 0.606 W/kg^{*2}です。個々の製品によって SAR に多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。

この製品を人体の近くでご使用になる場合^{*3}

この製品を人体の近くでご使用になる場合、身体から 1.5センチ以上離してご使用ください。このことにより、この製品は国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合します。世界保健機関は、「携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで 20 年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。」と表明しています。

※1 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第 14 条の 2）に規定されています。

※2 <携帯電話サービス>と同時に使用可能な無線機能を含みます。

SAR について、さらに詳しい情報をお知りになりたい場合は、下記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ

http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm

一般社団法人電波産業会のホームページ

http://www.arib-emf.org/O1denpa/denpaO2-O2.html

電波ばく露の影響に関する情報として、**欧州における基準および米国連邦通信委員会（FCC）の基準**を掲載しています。詳細は「**欧州における電波ばく露の影響に関する情報**」「**米国連邦通信委員会（FCC）の電波ばく露の影響に関する情報**」をご参照ください。

欧州における電波ばく露の影響に関する情報

この製品【603HW】は無線送受信機器です。本品は国際指針の推奨する電波の許容値を超えないことを確認しています。この指針は、独立した科学機関である国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が策定したものであり、その許容値は、使用者の年齢や健康状態にかかわらず十分に安全な値となっています。この製品から送出される電波の人体に対する影響は、比吸収率（SAR: Specific Absorption Rate）という単位を用いて測定します。携帯機器における SAR の許容値は 2W/kg で、アクセサリ等により人体より 0.5 センチ以上離して、その間に金属（部分）が含まれないようにして使用する場合の SAR の最高値は 1.57 W/kg です。

米国連邦通信委員会（FCC）の電波ばく露の影響に関する情報

米国連邦通信委員会の指針は、独立した科学機関が定期的かつ周到に科学的研究を行った結果策定された基準に基づいています。この許容値は、使用者の年齢や健康状態にかかわらず十分に安全な値となっています。携帯電話機から送出される電波の人体に対する影響は、比吸収率（SAR: Specific Absorption Rate）という単位を用いて測定します。FCC で定められている SAR の許容値は、1.6 W/kg となっています。測定試験は機種ごとに FCC が定めた位置で実施され、下記のとおりに従って**人体の近くでご使用になる**場合は 1.51 W/kg です。

人体の近くでご使用になる場合:

この製品【603HW】では、一般的な携帯電話の装着法として身体から 1.0 センチに距離を保ち携帯電話機の背面を身体に向ける位置で測定試験を実施しています。FCC の電波ばく露要件を満たすためには、身体から 1.0 センチの距離に携帯電話を固定できる装着具を使用し、ベルトクリップやホルスターなどには金属部品の含まれていないものを選んでください。上記の条件に該当しない装着具は、FCC の電波ばく露要件を満たさない場合もあるので使用を避けてください。比吸収率（SAR）に関するさらに詳しい情報をお知りになりたい場合は下記のホームページを参照してください。

FCC Radio Frequency Safety（英文のみ）

https://www.fcc.gov/general/radio-frequency-safety-0

世界保健機関は、携帯機器の使用に関して、現在の科学情報では人体への悪影響は確認されていないと表明しています。また、電波の影響を抑えたい場合には、通話時間を短くすると、または携帯電話機を頭部や身体から離して使用することが出来るハンズフリー用機器の利用を推奨しています。さらに詳しい情報をお知りにならない場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。

世界保健機関（英文のみ）

http://www.who.int/emf

Specific Absorption Rate (SAR) Information for this Product (for Japan)

This product [603HW] meets Japanese technical regulations* and international guidelines for exposure to radio waves. The Japanese technical regulations for exposure to radio frequency energy established permitted levels of radio frequency energy, based on standards developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The regulations employ a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR.

The SAR limit is 2 watts/kilogram (W/kg) averaged over ten grams of tissue. The limit includes a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health. The value of the limit is equal to the value given in international guidelines recommended by ICNIRP**, which is in collaboration with the World Health Organization (WHO). The highest SAR value for this product is 0.606 W/kg*** when used close to the body in the below manner****. While there may be differences between the SAR levels of various products and at various positions, all products meet the Japanese technical regulations. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR of the product during operation can be well below the maximum value.

Use close to the body****

To use this product close to the body, maintain a separation of 1.5 cm with no metal (parts) between it and the body. This will ensure this product meets the Japanese technical regulations for exposure and international guidelines for radio wave protection.

* The technical regulations are provided in Article 14-2 of the Ministry Ordinance Regulating Radio Equipment.

** International Commission on Non-Ionizing Radiation Protection.

*** The value is under simultaneous transmission use conditions.

The World Health Organization has announced that “A large number of studies have been performed over the last two decades to assess whether mobile phones pose a potential health risk. To date, no adverse health effects have been established as being caused by mobile phone use.”

For more information about SAR, see the following websites:

- **Ministry of Internal Affairs and Communications (MIC)**
http://www.tele.soumu.go.jp/esys/ele/body/index.htm

- **Association of Radio Industries and Businesses (ARIB)**
http://www.arib-emf.org/O1denpa/denpa02-02.html (Japanese)

This product [603HW] is confirmed to comply with guidelines relating to effects of radio wave exposure as set forth by the Council of Europe (CE) and the Federal Communications Commission (FCC). Refer to the following.

European RF Exposure Information

Your mobile device is a radio transmitter and receiver. It is designed not to exceed the limits for exposure to radio waves recommended by international guidelines. These guidelines were developed by the independent scientific organization ICNIRP and include safety margins designed to assure the protection of all persons, regardless of age and health. The guidelines use a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit for mobile devices is 2.0 W/kg. As mobile devices offer a range of functions, they can be used in other positions, such as on the body. In this case, the highest tested SAR value is 1.57 W/kg* at the separation distance of 0.5 cm from the body. For electronic safety, maintain the separation distance with accessories containing no metal, that position handset a minimum of the above distance. Use of other accessories may not ensure compliance with RF exposure guidelines.

* The tests are carried out in accordance with international guidelines for testing.

FCC RF Exposure Information

Your handset is a radio transmitter and receiver. It is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government. The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organization through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health. The exposure standard for wireless handsets employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg. The tests are performed in positions and locations (e.g. worn on the body) as required by the FCC for each model. The highest SAR value for this model handset as reported to the FCC when tested for use worn on the body in a holder or carry case, is 1.51 W/kg.

Body-worn Operation; This device was tested for typical body-worn operations with the back of the handset kept 1.0 cm from the body. To maintain compliance with FCC RF exposure requirements, use accessories that maintain a 1.0 cm separation distance between the user’s body and the back of the handset. The use of beltclips, holsters and similar accessories should not contain metallic components in its assembly. The use of accessories that do not satisfy these requirements may not comply with FCC RF exposure requirements, and should be avoided. The FCC has granted an Equipment Authorization for this model handset with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF emission guidelines. SAR information on this model handset is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section of http://www.fcc.gov/oet/ea/ after searching on FCC ID Q1S603HW. Additional information on Specific Absorption Rates (SAR) can be found on FCC Radio Frequency Safety website at https://www.fcc.gov/general/radio-frequency-safety-0.

The World Health Organization has stated that present scientific information does not indicate the need for any special precautions for the use of mobile devices. They note that if you want to reduce your exposure then you can do so by limiting the length of calls or using a hands-free device to keep the mobile phone away from the head and body.

- **World Health Organization**
http://www.who.int/emf

保証とアフターサービス

保証について

本機をお買い上げいただいた場合は、保証書が付いております。

- お買い上げ店名、お買い上げ日をご確認ください。
- 内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。
- 保証期間は、保証書をご覧ください。
- 修理を依頼される場合、ワイモバイルの各店舗またはお問い合わせ先へご相談ください。その際できるだけ詳しく異常の状態をお聞かせください。
- 本機を分解/改造すると、電波法にふれることがあります。また、改造された場合および外装ケース内および外装ケースを覆っているシールをはがされた場合は、修理をお引き受けできませんので、ご注意ください。
- アフターサービスについてご不明な点は、ワイモバイルの各店舗またはお問い合わせ先までご連絡ください。

アフターサービスについて

- 本機の故障、誤動作または不具合などにより、通信などの機会を逸したために、お客様、または第三者が受けられた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 故障または修理により、お客様が登録/設定した内容が消失/変化する場合があります。なお、故障または修理の際に本機に登録されているデータや設定した内容が消失 / 変化した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本機を分解 / 改造すると、電波法にふれることがあります。また、改造された場合および外装ケース内および外装ケースを覆っているシールをはがされた場合は、修理をお引き受けできませんので、ご注意ください。
- アフターサービスについてご不明な点は、ワイモバイルの各店舗またはお問い合わせ先までご連絡ください。



キケン! 発売元 **ソフトバンク株式会社**
水ぬれ充電 製造元 **HUAWEI TECHNOLOGIES CO., LTD.**

2017年2月 第1版